

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2015年10月1日		
所属学部	人文社会科学部		
所属学科・専攻	総合文化研究専攻		

1. 留学先について

留学先大学名	ライプツィヒ大学			
留学先所属学部等	歴史、芸術、東洋学部			
留学期間	出発日 2014.8.1	入学日 2014.10.1	修了日 2015.7.31	帰国日 2015.9.15
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他()	
	通学時間	40分		<input type="checkbox"/> On campus
	通学方法	路面電車、徒歩		
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 個室	<input type="checkbox"/> () 人部屋	<input type="checkbox"/> その他()
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> リビング <input type="checkbox"/> その他()		
食事	自炊 50 %	学食 40 %	外食 10 %	その他 % () * %で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	クレジットカード付帯保険		
	大学指定の保険(名称)	OSSMA		<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入
	その他	ドイツの健康保険(AOK)		
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)			
	羽田 ⇄ フランクフルト(飛行機) ⇄ ライプツィヒ(電車)			

2. 留学にかかった費用について

総費用	210万	円	* おおよそでかまいません。			
出処						
自費	<input type="checkbox"/> 貯金	円	<input checked="" type="checkbox"/> アルバイト	10万 円	<input type="checkbox"/> その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親	146万 円	<input checked="" type="checkbox"/> 家族・親戚	30万 円	<input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input type="checkbox"/> JASSO	円	<input type="checkbox"/> その他名称()			円
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 千葉大学助成金	24万 円	<input type="checkbox"/> その他()			円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金	5万	円	<input type="checkbox"/> その他()	円
留学中	<input type="checkbox"/> 海外送金	<input checked="" type="checkbox"/> キャッシング	<input type="checkbox"/> その他()		

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	全額現金で。
住居にかかった費用	銀行口座引き落とし。
その他	

2-3. 内訳 * 外貨で払ったものについては日本円に換算したおおよその金額も記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			500000	円
海外旅行保険				円
OSSMA				円
査証・在留許可証	ユーロ	100	13000	円
住居	ユーロ	3240	421200	円
食費			400000	円
通学に要する交通費	ユーロ	420	54600	円
教科書、教材費				円
その他大学に支払った経費				円
光熱費				円
その他 (生活費)			400000	円
その他 (語学研修費)			120000	円
その他 (パスポート)			20000	円
その他 (当地の健康保険)	ユーロ	900	120000	円

3. 学業面

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ^{ex.} 正規、聴講	単位数	単位互換認定 申請の有無	
1 Sprachpraxis mit Schwerpunkt deutsche Aussprache	正規		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
2 Deutsch für Studierende der Geisteswissenschaften	正規		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
3 Sprachpraxis Übung Grammatik	正規		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
4 Sprachpraxis Konversation	正規		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
5 Übersetzung	正規		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
6 Übersetzung	正規		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
7 Übersetzung	正規		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
8 Einführung in die Typographie(冬学期)	聴講		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
9 Einführung in die Typographie(夏学期)	聴講		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
10			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
11			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
12			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
13			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
14			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
15			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
16			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
17			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
18			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
19			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
20			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

留学生の場合、教授に直接メールで。

3-2. 授業内容、方法に関して

授業による。基本的には日本とほとんど変わらないが、学生でも教授に対して自分の意見を自由に言える雰囲気はドイツの方があるように感じる。

3-3. 語学力について

専門の授業は難しいが、留学生には配慮して授業をしてくれる場合がある。

3-4. 図書館など学内施設について

24時間開いている図書館もある。学生なら誰でも利用できる。学食やカフェがある。

3-5. その他

4. 生活面 *気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

4-1. 住居について

私の住んでいた寮は街の中心や学校からかなり離れていたため、毎日路面電車で通学していた。それぞれ個室はあったが、キッチン、シャワー、トイレは3人で共用。なるべくルームメイトに迷惑をかけないように過ごした。(夜静かにする、きれいに使う、等)部屋のドアがオートロックだったため、一度閉め出されたことがあり、それ以降鍵の扱いに気を付けた。途中で別の寮に引っ越したいと申し込みをしたが、連絡がこなかったため引っ越すことができなかった。問い合わせても、あなたの順番はまだですと言われるだけだった。

4-2. 食生活について

昼はいつも、安くてそれなりに美味しい学食で食べていた。日本食が食べなくなったら、アジアショップで日本の食材を買っていた。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

最初に寮でインターネットを接続するまでの手続き等が少し大変だった。ドイツは日本よりもWIFIを使える場所が多いので、そこに行って自分のスマートフォンをインターネットに繋いだりしていた。通話とメール用にドイツでプリペイド式の安い携帯電話を買った。

4-4. 服装について

冬はとても寒かったのでいつも厚着をしていたが、部屋の中はとても暖かかったので、調節が大変だった。服自体は日本よりも安く買える店が多かった。石畳のせいか、靴の消耗がはやかった。

4-5. 健康管理について

帰国直前に膀胱炎になって大変だった。2度なったので、その都度泌尿器科へ行った。

4-6. 保険、OSSMAの利用 *利用実績等をご記入ください

ドイツで加入した健康保険は、膀胱炎になった時につかった。診察は無料、薬は5ユーロで購入できた。

4-7. 課外活動について

最初のオリエンテーションコースで他の留学生と日帰りの旅行に行くことはあったが、それ以外特になかった。ライプツヒ大学で日本学を専攻している人とお互いに語学の勉強を助け合えるタンドムの制度があり、課題などでわからない部分を手伝ってもらった。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

特になし。

4-9. 日本から持参してよかったもの

味噌汁用のお椀(軽いので友達の家でパーティーをする時などにも持って行きやすく便利。)

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

ドライヤー、ヘアアイロン(電圧を確認していなかったため使えなかった。)

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

友達同士でよくディスカッションをしている。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

ex) 【イギリス・ロンドン&フランス・パリ(観光)】〇〇年〇月(5日間)、約5万円

【ハンガリー・ブダペスト(観光)】2015年6月(4日間)約5万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

暖かくなってから、毎週日曜日の朝、他の日本人留学生と公園でスポーツをしていた。

5. 報告

5-2. 留学先大学について(150~200文字)

ハイデルベルク大学に次いで歴史のある大学。ライプツィヒは学生街なので活気があり、店も多く便利。キャンパスは学部によって異なる。大学図書館は24時間開いていて、テスト期間中は勉強する学生でいっぱい。最近改築したため、とても近代的な校舎が印象的である。近くに路面電車の停留所が多くあるため、交通の便も良い。

5-3. 留学中の様子(450~500文字)

学校ではドイツ語の授業と自分の専門に関する授業を受けていた。それ以外の時間は日本学を学ぶ学生がよく集まるカフェに行き、課題について質問したり、雑談をしたりしていた。私の住んでいた寮は他の人達が住むところよりも遠く、路面電車の本数も少なかったため大変だと感じる時もあったが、遅くなったら友人の家に泊まらせてもらったりしてなんとかあった。旅行にはあまり行かなかったが、学生証があれば交通費をかけずに行ける距離の小さな町に日帰りで出掛けたりするだけで十分楽しむことができた。暖かくなってからは、日曜日の朝に他の日本人留学生達と公園でスポーツをすることが習慣になった。とても広い公園で、バスケットボール、サッカー、バレーボールなどのコートがあり、ジョギングをする人も多くいる。ドイツ料理で少し太ってしまったため、健康のためにも良い習慣だったと思う。また、どの店も閉まっていた何もしない日曜日に、早起きをして有意義に過ごすこともできた。昼はだいたい食堂で食べていた。安くてそれなりに美味しいものがあったので、昼時は多くの学生でにぎわっていた。

5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

最初は不安に思うことも多いと思いますが、行ってしまえばなんとかなります。言語に自信がなくても、人と関わることを避けて外に出ることが大切なのだと思います。いざというときに助けてくれる友人ができたら安心です。私の場合は周りの友人に恵まれすぎて甘えてしまい、自分の成長に繋がらなかった部分も多かったように感じます。自分でできることは自分でやり、辛いときには助け合える友人がひとりでもいたら、有意義で楽しい留学生活が送れるのではないかと思います。また、体調を崩したときはひとりで病院に行かずにドイツ人の知り合いに付き添ってもらった方がうまくいきやすいようです。ある日本人の友達が帯状疱疹になってしまった時、ひとりで病院に行った時はなかなか診察を受けさせてもらえなかったけれど、ドイツ人に付き添ってもらったらすぐに診察を受けられたそうです。ひとりで行くとドイツ語が通じないと思われて、たらい回しにされてしまうのかもしれない。

5-5. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

ひとりでドイツに行き、知り合いが誰もおらず言葉もうまく通じないという環境からはじまった留学だが、最終的には多くの友人ができ、日本にいる時とほとんど変わらない感覚で生活することができるようになっていた。うまくいったこともいかなかったことも、この1年間で得た経験は今後の人生で活かすことができるものだと思う。

お疲れ様でした